

行事番号 年次大会で産業化学機械と安全部門セッション

開催日時： 2017年9月4日(月)、5日(火)

会場：埼玉大学経済学部A棟3階A303室(年次大会講演室47)

参加者数：各セッション約30名

内容

年次大会講演の初日、二日目にわたって当部門の研究発表と基調講演、ワークショップが行われた。

初日午前は主に安全に関わる8件の研究発表が行われた。内容はリスクアセスメントに関するもの、制御に関するもの、手押し台車の力アシストでの実施例などで、どれも現場の安全向上あるいは安全の理論化を試みた斬新な発表であった。

午後は、厚生労働省安全担当官による「第12次労働災害防止計画の仕上げの年に当たって」と題して、最近5年の安全施策の総括と今後の展望が示された。今後はロボットの導入の増加、雇用形態の多様化から機械に詳しくない作業者の増加が予想され、リスクアセスメントの実施による事故防止への期待が示された。その後のワークショップでは、機械の安全設計の基本を見直すべく、安全設計の基本を説明する講演後、聴講者の質問に答える形で45分にわたって討論を行った。

二日目は主に産業・化学機械分野における先端技術の展開と題して、流体機械、宇宙機器さらに素材に関する研究が紹介された。最後は、オーガナイズドセッション「水素を利用した技術システムの安全性評価技術」で、今後の水素の利用増に伴い必要な技術の最先端研究が紹介され、聴講者との間で活発な質疑が行われた。